

創刊号

きらり通信

神奈川県立子ども自立生活支援センター

平塚市片岡 991-1 TEL.0463-56-0303

<http://www.pref.kanagawa.jp/div/1329/>

編集 広報委員会 印刷 (株)あしがら印刷



一人ひとりの子どもが 「きらきら」と輝けるように

子ども自立生活支援センター所長
中田和之

子どもたちを取り巻く環境をみると、貧困の問題をはじめ、親の愛情が受けられない、適切な養育が受けられないなど、心身の健やかな成長と発達、その自立が阻害される状況がみられます。こうした中、虐待を受けた子どもたちへの心のケアや、様々な事情で養育が困難な知的障害や発達障害がある子どもたちとその家族への専門的なケアが求められています。

どのような事情にある子どもであっても、その「生きる権利」が保障されなければなりません。特に複合的な問題、たとえば、被虐待、障害の重さや親子関係の不調、そうしたことから起こる情緒的な混乱など、「生きづらさ」を抱えた子どもたちに対して安全で安心できる温かい居場所を提供し、専門的な支援を行う機関のひとつとして、この子ども自立生活支援センター（愛称「きらり」）が設置されました。当施設は、乳児院、福祉型障害児入所施設、児童心理治療施設を併設し、一体的に運営する複合型の施設です。

神奈川県では、これまでその時代時代のニーズに応じた取組みを進めてきました。この「きらり」の前身となるのは、戦後の混乱の時期に路頭に迷う子どもたちの保護を目的として設置した中里学園（昭和21年9月）、ひばりが丘学園

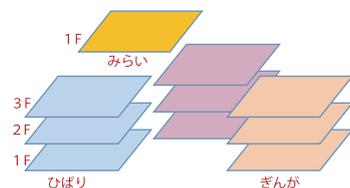
（昭和24年7月）、川崎乳児院（昭和25年6月後に中里学園に統合）です。これらの施設が時代を跨いで担ってきた営みを生かし、新たな時代の子どもたちのニーズに応えられるよう、「きらり」の仕事を展開していきたいと考えています。制度のはざままで支援が受けられない子どもをつくらない、という考えのもと、他の機関と連携しながら当施設の役割が果たせるよう努めてまいります。

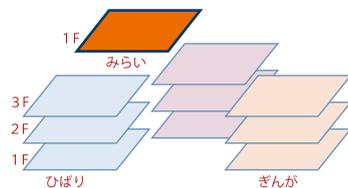
施設運営の基本理念ですが、子どもを権利の主体者と捉え、その権利を擁護するという児童福祉の考えを基本に次のことを掲げています。①温かい生活を提供し、子どもの「生きる力」と「つながる力」を育みます、②一人ひとりの子どもに寄り添い、最善の利益を優先した支援を行います、③施設の専門機能を生かして地域に貢献します、です。

誰一人同じではない子どもを大切にしたいという思いを、その子の「今」を見て、さらには「将来」を思い描きながら、その子にとって何が必要なのかを考えて、今私たちにできることを営みとして進めてまいりたいと思っています。

今日も子どもが笑っています、今日も子どもが怒っています、今日も子どもが黙っています、今日も子どもは変わりません…様々な表情を見せてくれる子どもたちが今日も「きらり」で過ごしています。以前の「あなた」と比べると、こんなことができるようになったなあ、穏やかになったなあ、甘えられようになったなあ、などと感じさせてくれる瞬間があります。ともに過ごす中で、私たち職員は子どもたち一人ひとりの「この子」に気づき、喜怒哀楽を味あわせてもらっています。誰一人としてどうでもよい命はありません。どの子どもも「きらきら」と輝けるように育てていってほしいと願っています。

私たち「きらり」の仕事は始まったばかりですが、子どもたちの幸せを願う皆さんと気持ちを合わせ、手を携えて、子どもたちの未来に向かって進んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。





明るい太陽がふりそそぐ「きらり」の南棟にある「みらい」は、0歳からおおむね2歳を対象とした入所施設です。様々な事情で家庭での養育が困難な子どもをお預かりしています。少人数で家庭的な環境づくりを心掛けています。ご家族に代わって、24時間体制で子どもが健やかに育つようスタッフ全員で支援しています。

ようこそ、「みらい」へ

全ての子どもには、大切に育てられ、安心して幸福に暮らす権利があります。「みらい」では、全ての子どもにそれぞれ担当の職員がつき、一人ひとりに合わせた細やかな保育計画を立て、それをもとにスタッフ全員で成長・発達に合わせた育児やケアを行っています。また、スタッフには看護師と保育士がおり、センター内の医務課や自立支援課の各専門スタッフと協力しながら、それぞれの専門性を活かした保育・医療ケアを行っている点も特長の一つです。



明るいお部屋で
いっぱい遊びます



いっぱい食べて
いっぱい寝ます

行事も大切にしています

みらいでは、季節や子どもの成長に合わせた行事にも取り組んでいます。

1月 着物で写真撮影	7月 七夕
2月 節分	9月 お月見
3月 ひな祭り	10月 ピクニック
5月 菖蒲湯	12月 クリスマス会
6月 運動会	
お誕生会	



専用の広々い
お庭もあるよ

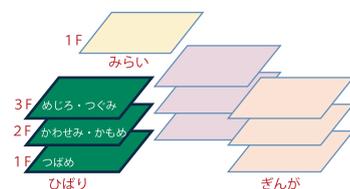


みらいの日課

活動ごとにユニット単位や、年齢発達別で組み合わせています
低年齢児は、子どものペースで哺乳や睡眠を取っています

	6:30~	7:30		9:00		11:15	12:00	14:00	15:00		17:00		19:30~
低月齢児	順次起床	室内遊び	室内遊び	朝の会	入浴	室内遊び	お昼寝	外気浴・室内遊び	散歩・室内遊び	室内遊び	室内遊び	順次就寝	
高月齢児		朝食			散歩・室内遊び	昼食		おやつ	入浴	夕食			





「ひばり」は、幼児から高校生年齢の知的障害のある子どもが、日常生活に必要な支援や自立に向けた支援を受けながら生活する施設です。入所する子どもは、地域の学校（養護学校、特別支援学級）に通学します。自由時間には、職員と一緒に近隣商店への買い物や外食、ドライブ、散歩を楽しんでいます。また、短期入所サービスも行っています。

時間	日課
7:00	起床 朝食
8:00	登校
	（土日は買い物）
	映画
12:00	ドライブ
	（外遊びなど）
15:00	下校 おやつ
	（外遊びなど）
18:00	夕食
19:00	入浴
20:00	順次 就寝

1階 つばめ

小学生といえば、やんちゃ盛り。小競り合いも絶えません。楽しげな替え歌や職員に抱きつくなど可愛い盛りです。中学、高校生になると、声、立ち居振る舞いにお兄さんらしさが出てきます。一つのフロアで小学生から高校生までの男の子が生活し、笑い声、泣き声も絶えず賑やかです。きり卒業までの、彼らの大切な時間の充実と思い出作りのため、地域の方々の協力もいただきながら、試行錯誤中です。



2階 かもめ

小学校低学年から18歳までの個性豊かな男の子のユニットで、毎日楽しく過ごしています。お兄さんたちは、卒業後の進路に向けて様々な取り組みを試み、小学生たちは、自分で出来ることを増やそうとがんばっています。



かわせみ

小学校低学年から中学生までの、元気一杯わんぱくな男の子のユニットです。泣いて笑って、時には怒ってしまうこともありますが、自分の可能性を少しでも伸ばそうと、頑張っています。



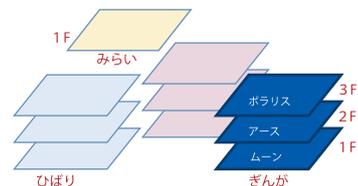
3階 めじろ

食事や入浴など、日常のことは自分でできる方が多い女の子のユニットです。おしゃべりが好きだけど、上手にコミュニケーションをとることが難しい方もいます。休日は、近隣での買い物や外食を楽しみにしています。



つくみ

やんちゃな幼児さんからお姉さんまで、年齢も障害も様々。職員と一緒に身の回りのことを練習しながら、ブロックやダンス、パズルなどそれぞれの才能を生かして過ごし、日々笑顔を紡いでいます。



「ぎんが」は、家庭環境や学校における交友関係、その他の環境上の理由により、社会生活への適応が困難となった子どもが生活する施設です。原則、施設内の平塚市立金目小学校・金目中学校五領ヶ台分校へ通学し、その他、心理的、医学的な治療や生活上の支援を受けています。概ね2年程度の入所期間で、社会生活に適応することを目指しています。

1階 ムーン

小学校低学年の男の子と幼児の二つのユニットに分かれています。様々な体験を通して情緒的な発達を促し、集団生活の中で社会性を育めるようサポートしています。鬼ごっこをして遊んだり、ユニットの裏手で野菜を育てる体験をしたり毎日元気いっぱいです。お友達とのケンカなどもありますが、職員と話合って、自分はどうかかったのか、どうすればよかったのかなど、一緒に考えています。

2階 アース

アースは、小学校中高学年と中学生の男の子が、二つのユニットに分かれて生活しています。子どもたちは、五領ヶ台分校で学び、放課後には体育館やグラウンドで運動をしたり、また、畑でキュウリやトマトなどの作物を育てたり、夏にはプールで水泳部の部活動など、成長の日々を送っています。さらに、生活の中の自分の発言や行動をふり返り、職員と共に考える機会を設けていきます。どの様に表現したら他の人とうまく付き合えるかなど話し合います。

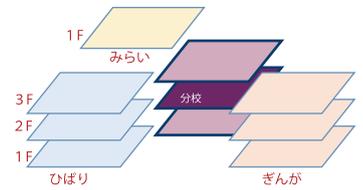
3階 ポラリス

ポラリスでは、コミュニケーションを取ることや感情をコントロールすることが苦手な女の子たちが生活しています。日々の生活の中では、子ども同士で遊んだり、職員とのやりとりをする中で各自の課題が見えてきます。その課題に向き合うことができるよう、子どもと職員が一緒になって解決の方法を探っています。子どもも職員も試行錯誤の日々ですが、日々の積み重ねを大切に生活しています。

時間	日課
7:00	起床
8:00	朝食
9:00	登校
12:00	下校 フロアで昼食
13:30	再登校
15:00	下校 おやつ
18:00 :30	自由時間 夕食 入浴
20:00	順次 就寝



- | | | |
|-------|--------|------|
| 愛する金魚 | 部屋で過ごす | ふり返り |
| かがやく畑 | 合作作品 | 愛車 |
| | フロア | |



平塚市立金目小学校・金目中学校五領ヶ台分校は、「きらり」子ども第三課の子どもが通う学校です。小学校および中学校の教育課程に準じた教育を行います。その上で、障害による学習上または生活上の困難を改善・克服し、自立し社会参加する資質を養うための「自立活動」を教育課程の中に位置づけています。

小学校

平塚市立金目小学校五領ヶ台分校です。

開校最初の行事は入学式でした。新しい一年生は、沢山のお客様が見守る中、市の教育委員会の方から真新しい黄色い帽子をかぶせてもらい、立派な姿を披露しました。分校の職員からは、「一年生になったら」の歌でお祝いました。

毎日の学習は、朝の自立活動から始まります。体育館で体操をしたり、走ったり、ボールで遊んだりしてひと汗流します。教室に戻ってからは、教科書に沿った内容や児童それぞれに応じた課題に取り組みます。もちろん、音楽や図工、体育、家庭科も大好きです。

中学校

平塚市立金目中学校五領ヶ台分校です。

基本的な教材は平塚市の中学校と同じものを使用していますが、必要に応じて一人ひとりの状況にあった学習を進めています。特に自立活動では、SST（ソーシャルスキルトレーニング）でお互いの意見を聞きあいながら、より良い振る舞い方や人との適切な距離感などを学んでいます。また、作業的学習などでは、協力して畑を耕したり掃除をしたりしています。

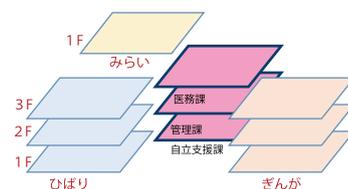
7月には小中合同の全校集会を行いました。フロアやセンターの職員の方も大勢来てくださり、沢山の拍手をいただきました。

校時	時間
1	9:05
	9:50
2	9:55
	10:40
3	10:45
	11:30
4	11:35
	12:10
お昼	12:15
	13:20
5	13:30
	14:15
6	14:20
	15:05

医務課

管理課

自立支援課



医務課は、「きらり」の子どもたちの診療所です。スタッフは、常勤医師2名（小児科、精神科）、看護師5名、歯科衛生士2名です。また、小児神経科（週1回）や皮膚科（月1回）の専門医による診察や、歯科診察（週1回）も実施しています。日々、乳児から高校年齢の子どもたちの健康状態を把握・診療し、健康指導を行うとともに、軽微なけがや打撲等の処置も行っています。新生児・乳児には月一回健康診断を行います。様々な障害を持ち、心に傷のある子どもたちに、フロアスタッフと共に寄り添い、その暮らしさを認めて、少しでも自分に自信をもって生きていけるよう、診療しています。



管理課は、「きらり」の仕事を支える「縁の下の力持ち」です。物品の管理、お金の管理、食事の管理、いろいろな連絡調整を担っています。また、栄養士が0～18歳までの子どもたち一人ひとりの身体と心に合わせた、おいしくバランスの取れた食事を提供しています。子どもたちが生涯にわたって健康な生活が送れるよう、旬の食材や地元産の食材を取り入れながら、料理の組み合わせを考え、季節や行事に合わせた食事を取り入れるなど配慮しています。「おいしい!」「また食べたい!」の音がたくさん聞けるよう、食事がすすむ献立作りに取り組み、食事が楽しみだと子どもたちに思ってもらえるよう、引き続き工夫していきます。



自立支援課は、「きらり」全体に係る様々な業務を担うセクションです。三施設の入退所や障害児の短期入所の調整を行うケースワーカー、子どもの心理療法を行う心理担当、発達障害支援について専門的な役割を担う支援アドバイザー、幼児や短期入所の日中活動を行う日中活動担当、地域の学校への通学付添の調整を行う通学担当、里親の育成や委託推進を図る里親担当など、いろいろな職種が在籍しています。その他、見学者対応やボランティアの受付・公開研修の企画なども行い、地域の窓口になります。



ボランティア募集

行事等のお手伝いや、学習補助、衣類の補修等のボランティア活動をしていただける方を募集しています。資格や経験は問いません。ご興味のある方はお気軽にご連絡ください。

施設開放

地域におけるコミュニティ作りや文化活動に貢献できるよう、体育館などの貸し出しを検討しています。ご利用希望される方は、施設開放事業担当者まで、お問い合わせください。

短期入所サービス

年齢が18歳までの知的障害のある方を対象に、短期入所サービスを提供しています。ご利用を希望される方は、下記連絡先までご連絡ください。

研修案内

子どもの発達や、発達障害、愛着の問題など、「きらり」が支援する子どもに関するテーマについて、公開研修を企画します。内容や日程については、お問い合わせください。

問合せ先：0463-56-0314 自立支援課（直通）または、ホームページの「お問い合わせフォーム」をご利用下さい